

# 秋田県歯科技工士会生涯研修会【自由】案内

春暖の候、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、本会では下記日程で生涯研修を開催いたします。昨年 7/23 に予定しておりましたが、豪雨災害を鑑み、延期していた研修会です。

対面のみで開催になりますが、内容は、模型調整の方法（模型調整の実習もご覧になれます）や、歯冠形態の考え方など、明日からすぐに使える知識も学べて、若手の技工士さんからベテランの技工士さんまで大満足な講演になると思います。皆様、奮ってご参加ください！



**日時** : 令和6年5月19日（日）9時30分～15時  
**会場** : 秋田県青少年交流センター ユースパル  
（秋田市寺内神屋敷3-1）  
**講師** : 遊亀 裕一 先生  
**テーマ** : 『生体にやさしい修復物』  
**受講料** : 会員：無料 会員外：5,000円（※）  
**単位** : 10単位 定員：30名  
**昼食** : 弁当（希望者のみ） 1,000円（※）

※会員外受講料・弁当代は、当日受付にて申し受けます

※対面のみです。オンラインはありません。

《抄録》

いくら適合が良く、天然歯そっくりの色再現ができたとしても、歯肉に炎症が起きるようでは、生体にやさしい修復物とは言えません。

生体にやさしい修復物を作るには、まずは歯周組織と修復物との適切な関係を歯科技工士も理解する必要があります。そして、患者さん個々の歯周状況を把握し、チェアサイドで施す炎症と力のコントロールに対する配慮も必要です。しかし、修復物製作時における作業模型は、歯周の状態を表面的な一部しか表していません。ましてや、歯牙を支えている歯槽骨や歯根膜の状態などは、作業模型からは全く把握することはできません。すなわち、作業模型から得られる情報だけで生体にやさしい修復物の製作は難しいと言えます。

本セミナーでは、口腔内で長く歯周の健康を維持できる、生体にやさしい修復物はどのように作ると良いか、臨床例を提示しながらお話しいたします。

また、模型調整の実習を間近でご覧いただけます。

《裏面・講師略歴》

## 参加申込書（5/13・月 締切）

参加者名	勤務先名
<input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 歯科技工士 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士	
住所 〒	
電話/FAX	お弁当（1,000円）どちらかに○をお願いいたします <b>要</b> <b>不要</b>



申込み用 QR コード

申込先：秋田県歯科技工士会 電話・FAX 018-892-2447 / E-mail akisigi@ceres.ocn.ne.jp

## 【遊亀 裕一先生 略歴】

1977 年:日本大学歯学部付属歯科技工専門学校卒業

1988 年:横浜市にて(有)山手デンタルアート開業

2006 年 4 月～2021 年 3 月:明倫短期大学臨床教授

2009 年:文部科学省委託事業・潜在的歯科衛生士の再就職促進研修会講師

2010 年:全国歯科技工士学校教員協議会研修会講師

2017 年:日本口腔インプラント学会認定講習会講師(現在に至る)

現在:日本有床義歯学会監事、日本顎咬合学会認定指導歯科技工士、日本歯科審美学会会員、  
日本臨床歯科補綴学会会員、W クリック会員、GC セミナー講師、京セラメディカルセミナー講師

## 【主な執筆】

- \* ラボサイドへの情報伝達 - いかに補綴のイメージを共有するか -(共著)歯界展望 .2003 年 10 月
- \* 補綴主導型インプラントとその技工(共著)QDT 別冊 YEAR BOOK. 2003 年
- \* 咬合調整の少ないクラウンの作り方 . デンタルダイヤモンド . 2003 年 11.12 月
- \* デジタル画像により様変りする歯科技工士への情報伝達(共著)日本歯科評論 . 2004 年 5 月
- \* 前歯部歯冠修復における「レジンガム」応用テクニック . 日本歯科評論 . 2005 年 9.10 月
- \* みんなでいっしょに歯周補綴(共著)歯界展望 . 2008 年 4.5.6 月
- \* FUNDAMENTALS of Esthetic Dental Technology 審美歯科技工の原理原則(共著)歯科技工別冊 .2009 年
- \* 診療室・技工室から補綴臨床を考える(共著)2010 年 1 月株式会社ジーシー
- \* キャスタブルゴールドアバットメントの技工操作 2010 年 4 月 Japan Medical Materials Corporation
- \* 問われるインプラント、チーム連携で安全・安心—患者を中心に据えた質の高いチーム医療のあり方を考える (共著)2012 年 08 月ザ・クインテッセンス
- \* 生体と調和する歯周組織にやさしい歯冠修復物、その考え方とラボワーク .  
クインテッセンス出版 2014 年 6 月
- \* インプラント治療の到達点、過去から現在、そして未来へ。北海道形成歯科研究会編  
クインテッセンス出版 (共著) 2019 年 10 月